【授業科目】慢性看護学演習Ⅰ（慢性期の理論）　Advanced Seminar of Chronic Illness Nursing I

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大久保 仁司	１年次 前　期	選　択	２	６０	演　習	巻末 掲載

授業概要 （内容と進め方） 及び 課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	慢性的な健康問題（がんを含む）をもつ患者と家族における苦悩を理解するための理論を活用した研究論文を検索し、看護実践に応用する能力を学修する。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／プレゼンテーションについては授業内でコメントする。また、提出されたレポートについてはコメントをつけて返却する。
授業の 位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシー③、④の達成に寄与している。
到達目標 （履修者が到達すべき目標）	①　慢性的な健康問題（がんを含む）をもつ患者と家族に関する文献を精読する。 ②　慢性的な健康問題（がんを含む）をもつ患者と家族における理論を活用した看護援助について説明できる。 ③　慢性的な健康問題（がんを含む）をもつ患者と家族への看護実践について述べることができる。
時間外学習に 必要な 内容・時間	事前学習は各回に関係する文献を読んでおく（2 時間）。事後学習は学んだ理論・概念を用いて事例を展開し、学びを応用に結び付ける（2 時間）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1 回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画	第 1 回　慢性疾患患者・家族の苦悩 第 2, 3 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（セルフケア） 第 4, 5 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（症状マネジメント） 第 6, 7 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（セルフエフィカシー） 第 8, 9 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（アドヒアランス） 第 10, 11 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（アンドラゴジー） 第 12, 13 回　慢性的な健康問題をもつ人々への概念と理論（患者教育） 第 14, 15 回　慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術（退院支援） 第 16, 17 回　慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術（療養の場における調整・支援） 第 18, 19 回　慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術（地域包括ケアシステム） 第 20, 21 回　慢性的な健康問題をもつ人々への支援技術（就労支援） 第 22, 23 回　慢性的な健康問題をもつ人々の倫理的課題（意思決定支援 1） 第 24, 25 回　慢性的な健康問題をもつ人々の倫理的課題（意思決定支援 2） 第 26, 27 回　慢性的な健康問題をもつ人々のエンド・オブ・ライフケア　1 第 28, 29 回　慢性的な健康問題をもつ人々のエンド・オブ・ライフケア　2 第 30 回　慢性的な健康問題をもつ人々への看護の展望	全て 大久保
評価方法 評価基準	課題に対するプレゼンテーション、レポートなどによって総合的に評価する。	

教科書	教科書は指定しない。 適宜，資料配付や文献を紹介する。	参考書等	適宜、講義内で紹介する。